



平成 22 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 セブンシーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤堂 裕隆
(コード番号 3750 東証第二部)
問合せ先 経営企画部長 関 裕司
(TEL. 03-5225-3612)

経営方針の明確化およびセグメント変更に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月 23 日以降、当社子会社の売却、事業譲渡等が継続しておりますが、この度新たに経営方針を明確にし、併せて収益基盤の強化と経営資源の集中を図るため、セグメントの見直しを実施致しますので、お知らせいたします。

1. 経営方針

当社グループは現在、「メディア事業」、「IT 事業」、「マーケティング事業」という 3 つの事業ポートフォリオを構成しております。

メディア事業においては、これまで中核事業として、新たなトレンドやマーケット、ライフスタイルを創り出すといったように、ある特定の分野において、消費者（読者）に対して魅力ある媒体を提供してまいりましたが、昨今の経済不況により広告市場が急速に低迷したことから、雑誌の休刊が相次ぐなど、出版業界の市場規模が年間 2 兆円以下になり、厳しい経済環境にあります。

このような状況に鑑み、一般的な消費者向けのコンシューマー・パブリッシングからは原則として撤退し、今後はマーケティング要素の強いメディア事業へ方針転換することを基本方針しております。

具体的には、同事業に係る長年コンシューマー・パブリッシングで培ったクリエイティビティーや事業ノウハウを活かして、編集受託をはじめ、マーケティング事業における市場調査機能との融合による企業向けの各種販促ツールの提供をしており、昨年度より複数の優良な大手企業と取引を開始しており、堅調に推移している状況にあります。

今後の同事業の展開としましては、専門性が高く、マーケティング要素の強いメディア事業という位置づけで、事業内容は以下のとおりであります。

- (1) クリエイティビティーに優れた訴求効果の高い各種販促ツール・会報誌等の企画・立案・制作
- (2) 海外企業による日本の出版市場進出に伴う出版物の制作・アレンジメント・マネジメント
- (3) 国内出版物の海外進出に伴う出版物の制作・アレンジメント・マネジメント
- (4) 編集受託業務
- (5) 戦略的な媒体開発を基軸とした通販事業

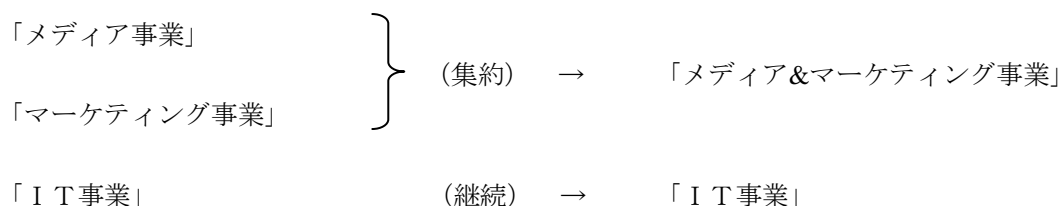
IT 事業においては、日進月歩の技術革新の中、クライアントのニーズを察し、革新的な技術開発の下、システム開発および運用といったサービスメニューを提供していく姿勢を実践しております。具体的な成果としましては、タクシー事業者向け決済端末事業およびデータセンター事業から構成され、どちらもインフラ事業といえ、景気変動を受けにくい事業構造となっているのが特徴であります。

マーケティング事業においては、刻々と変わり続ける消費動向に対して、常に適切なりサーチ方法にて、顧客が満足し得る精度の高い情報を提供しております。さらに、前述のとおり、客観的なりサーチ機能を活かして、メディア事業で培ったコンシューマー・パブリッシングに関するノウハウとの融合により、企業向けの各種販促ツールの提供を開始しております。

以上のことから、いずれのセグメントにおいても、常にマーケットは変化しており、既存のサービスメニューを提供し続けているだけでは、退化してしまいます。当社グループは、新規事業だけでなく、既存事業においても失敗を恐れず、現状に満足することなく、常に新しい価値を創造していく企業体を目指していきます。

2. 事業セグメント

前述のとおり、「メディア事業」、「マーケティング事業」はそれぞれ独立する位置づけより、融合により新しいサービス、商品が提供できる体制にシフトしている傾向が強く、両事業における親和性が高いという点が挙げられます。加えて、分散していた事業分野を統合することにより、業務効率の向上、間接コストの削減による収益性の強化、シナジー効果を高めることを目的とし、事業セグメントを以下のように集約、名称変更を行います。



3. 今後における事業展開

今後、事業セグメントごとに統合やグループブランディング統一に伴うグループ企業の社名変更等を予定しております。「メディア&マーケティング事業」、「IT事業」を基軸とし、グループの経営資源を集中化させ、さらなる企業価値を高めてまいります。

以 上